

近況(心境)その二

小柴 禧悦(化工会)

3年前に新聞の投稿短歌の中から、自分の心境を表す短歌を選んで投稿(「近況報告」欄)したことがあります。短歌を読むだけでなく作ってみようと思ったことはありましたが、いざ作ろうとするできませんでした。ところが、5月から今まで夕方やっていたウォーキングを早朝にやることにして2週間あまり経った頃、歩きながら情景を言葉にしてみると「短歌もどき」ができることに気が付き、以来1ヶ月が経ち計 54 首になりました。

そこで借り物ではなく、つたない自作で近況を御披露しますので、ご笑覧下さい。

作成順で 20 首。

継続は困難なれど習慣にすればやがては力とならん

鶯と雲雀のさえざり聞こえ来る姿は見えぬ曇る朝空

気が付けば光る水玉知らぬ間に雲消え失せて今日は晴天

庭の草コンポスト止めてはや四年いつまで続く公的収集

スーパーにトラック1台荷下ろし中夜道走りて孤独な作業

シャッターを開ける時刻がまちまちで見えぬ日もあり消防車両

朝歩きメモ帳持てば意外にも脳裡に浮かぶ五音七音

年四度田町に集う 33 化工ほどほどに飲み語り合う今昔

たらればと二打差悔やむも五月晴れフェアウェー歩く幸せ思え

一夜にて舗装されたる駐車場開店間近ぞ大型喫茶

信号を待たず歩ける次々といいことありや今日の運勢

朝歩き5月の成果十七万歩減量一キロ短歌三十首

錦織の破れし朝なみだ雨眠い目こすり傘差し歩く

テーブルに箸置き待ちし余人会帰宅後知りぬ葬儀済みしを

ストライク八個連続新記録伸び代あるを八十路にて知る
夫唱婦随すり足歩くを追い越せばしばらく聞こゆ足音二重奏
足音が響くを知りぬ傘の内人気少なし日曜の朝
何時になくカーカーの声響けば何時もの鳥たち声をひそめる
若き頃歩く速さに自信あり今や抜かれてはるかに遠く
なでしこを見るため三十分早起きす街はいまだに眠りの気配

鶯の句、たまたま今年最後の声でした。色々と気付きがあり、それを形に残せる喜びを感じています。

50分ばかり歩いて帰宅してから、庭の手入れを20分ばかりすることで、草ぼうぼうであった我家もいっくら見られるようになってきました。この習慣を続けたいと思っています。睡眠時間が一時間強減っていますが、眠くなったら昼寝をします。

さて、椎名さんの小説を楽しみにしていますが、以前内田さんが川柳のことを書かれていました、他にも文芸の趣味を持たれている方が居られるのではないかと思います。投稿をされたらいかがでしょうか。

(2015.6.18)

追伸:6.19 作

書きためし何れが良きか分からねど近況らしき二十首選ぶ
かないにもみせずつづけしうたづくりこらでいちどひろうしようか